

1 2 (H28-29 参考調査)ホウレンソウの寒締め移植栽培における定植適期等に関する調査

調査の目的

市内の寒締めホウレンソウ栽培では、近年、有孔マルチを用いた移植栽培に取り組む生産者が増えています。しかし、定植適期等に関する検証が不十分なため、栽培年により生育差があり生産が安定しないことから、H28・29 の2か年にわたり、市内での移植栽培における定植適期を模索しました。

関係先

市内の寒締めホウレンソウ生産者

調査区の設定

調査区	調査年度	播種日 (月/日)	育苗日数 (日)	定植日 (月/日)	栽植密度 (マルチ使用の有無)
移植区 1	H28	9/7	14	9/21	条間 15cm×株間 15cm=4,444 株/a (銀ネズ有孔マルチ使用) ※育苗資材は「ペーパーポット SM2406」(日本甜菜製糖)を使用。
	H29	9/6	14	9/20	
移植区 2	H28	9/7	21	9/28	
	H29	9/6	21	9/27	
移植区 3	H28	9/14	14	9/28	
	H29	9/13	14	9/27	
移植区 4	H28	9/14	21	10/5	
	H29	9/13	21	10/4	
直播区	H28	9/21	-	-	条間 20cm×株間 10cm=5,000 株/a (マルチ無し)
	H29	9/20	-	-	

※供試品種は「冬霧7」(渡辺採種場)

2か年の気象状況の違い

- ・H28：ホウレンソウが肥大する10月中旬から11月上旬の冷え込みが特に厳しく、平年なら11月下旬となる長期積雪(根雪)初日が10/29と早くなりました。
- ・H29：10月の平均気温は平年よりやや低かったものの、H28のような冷え込みには至りませんでした。

苗質調査結果 (H29)











調査結果は下表のとおりですが、移植区2と4の苗では、本葉が長い影響で定植後に苗が倒れ、葉がマルチに張り付きました。9月末や10月初めでも晴天ならハウス内が高温になり、いわゆる「マルチ焼け」が発生するおそれがありました。このことから、定植時の葉長(本葉)は2cm程度が望ましいと考えられました。

調査区	移植区 1	移植区 2	移植区 3	移植区 4
定植時写真				
本葉数	2.0枚	3.1枚	2.0枚	2.5枚
最大本葉長	2.1cm	6.8cm	2.0cm	4.9cm

生育状況及び収穫調査結果

市内には寒締めホウレンソウの部会が存在せず、統一的な出荷規格が無いので、この調査では、寒締めホウレンソウとして望ましい規格を次のとおり設定し、この調査における「出荷規格」としました。

- ・一株重：調製後で40g以上（1袋200gで5株以内が目安）
- ・最大葉長：24cm未満（大きすぎると出荷袋への袋詰めが難しい）
- ・葉柄部 Brix（糖度の目安）：8%以上

調査区	結果	平成28年12月中旬 （写真下は収穫時データ 左から調製後一株重、最大葉長, Brix）	平成29年12月中旬 （同左）
移植区1 定植日 H28.9.21 H29.9.20	H28は11月に出荷規格を満たしたが、12月は過剰肥大。H29は11月の時点で過剰肥大。定植時期としては早すぎた。	 52.4g/24.8cm/8.8%	 73.1g/25.8cm/9.5%
移植区2 定植日 H28.9.28 H29.9.27	H28は12月下旬、H29は11月下旬に出荷規格到達。年ごとの気象変動にもある程度対応可能で、定植時期として適当だった。	 31.6g/19.9cm/9.4%	 42.5g/21.8cm/8.2%
移植区3 定植日 H28.9.28 H29.9.27	育苗日数は異なるが、移植区2とほぼ同等の生育（若干遅い）で、定植時期として適当だった。	 30.2g/19.4cm/9.8%	 41.2g/22.1cm/9.1%
移植区4 定植日 H28.10.5 H29.10.4	H28は1月下旬の調査でも出荷規格に達せず、H29は12月中旬に出荷規格近くまで生育した。定植時期としてやや遅かった。	 16.3g/14.7cm/10.0%	 37.3g/20.7cm/8.9%
直播区 播種日 H28.9.21 H29.9.20	H28・29とも、収穫調査期間中には出荷規格に達しなかった。無マルチの直播栽培としては、播種時期がやや遅かった。	 20.4g/19.6cm/7.9%	 29.5g/18.0cm/10.1%

※写真は全て縦の長さを約38cmに統一しています。

考 察

市内の寒締めホウレンソウ栽培で、品種は「冬霧7」、育苗資材は「ペーパーポットSM2406」を用いる場合の定植適期は9/27・28頃で、定植時の苗質は本葉2枚、最大本葉長2cm程度が望ましいと考えられました。